

令和5年度 学校経営計画書

学校名	倉敷市立下津井中学校
校長氏名	赤崎 哲也

○ 本校のミッション（使命、存在意義）

人間尊重の精神を基調に、地域に根ざした特色ある学校づくりを進め、自信と誇りをもち、思いやりの気持ちを大切に心身ともに健康な生徒の育成に努める。

○ ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

「生徒が学べてよかったと思える学校」「保護者が学ばせてよかったと思える学校」「教職員が勤めてよかったと思える学校」「地域に存在を認められる学校」を目指す。

- (1) 生徒が輝き、充実感を味わうことができる学校
- (2) 生徒の自己実現・進路保障ができる学校
- (3) 教職員が互いに指導力の向上に努め、効率的に職務を遂行する学校
- (4) 保護者や地域に信頼され、環境が整備された心地よい学校

○ 当該年度の具体的な学校経営目標・計画

すべての生徒の進路保障を目指し、「生きる力」を支える「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた育成を図る。

【指導の重点】

1 学力の向上

- (1) 「下津井中学校学力向上プロジェクト」を推進し、基礎・基本の習得、家庭学習の定着を図る。
 - ・ 授業力の向上（分かる授業の推進、全教員による年間1回以上の公開授業研究）
 - ・ 岡山型学習指導のスタンダードの推進（授業5の徹底）
 - ・ 基礎学力の向上（「学習アプリ」による個別最適化された家庭学習の習慣化、放課後学習の充実）
 - ・ 指導方法の工夫改善（タブレット端末等のICT機器の利活用、「学習アプリ」を使用した自学自習）
 - ・ 定期テストに自主学習資料を持ち込みできる問題を出題。

2 社会性の育成

- (2) 積極的な生徒指導に努め、教師と生徒の信頼関係、生徒相互の好ましい人間関係を育てる。
 - ・ 生徒に寄り添う指導の徹底及び迅速な対応
 - ・ いじめを許さない学校づくりの推進（早期発見・迅速な対応、全教職員による見守り、教育相談の充実、調査による実態把握、道徳・学級活動・全校集会等での講話の充実等）
 - ・ 規則を守り、規律を高める取組の推進
 - ・ 明るく元気な「あいさつ」の推進（生徒会、保護者、教職員によるあいさつ運動の展開）
- (3) 道徳教育や人権教育の充実を図り、思いやりの心を育てる。
 - ・ 道徳の時間の充実（授業研究の推進）
 - ・ 人権意識の向上（道徳、学級活動、人権講演会、人権集会、人権宣言等）
- (4) 特別支援教育の充実を図る。
 - ・ 道徳、学級活動、集会等での障がい児理解の推進
 - ・ 校内支援体制の整備（見守り体制の充実）
 - ・ 関係機関との連携、校内研修会の充実
- (5) 健康教育・食育を推進する。
 - ・ 給食残量の減少の工夫と食育に関する啓発活動の推進

3 生徒活動の活性化

- (6) 生徒活動の活性化により、生徒の力を伸ばすとともに、生徒の自己実現が図れるように努める。
 - ・ 下中祭等の学校行事における生徒の主体的な取組の推進
 - ・ 生徒会活動、委員会活動、学級会活動、部活動の充実
 - ・ 地域行事等への積極的な参加
- (7) 校内環境の整備・美化に努める。

4 地域との連携

- (8) 保護者や地域と連携し、開かれた学校づくりを推進する。
 - ・ PTAや「青少年を育てる会」、公民館等の活動との連携
 - ・ 学校行事などの積極的な地域への公開
- (9) 小中連携教育を推進する。
 - ・ 情報の共有（学区校長会、教務主任者会、養護教諭連絡会、小中連絡会等）
 - ・ できることからの推進（小中合同研修会、進学説明会等）
 - ・ 学力向上に向け、小中で連携した取組の実践（しもついつ子チャレンジランキング）